



発行・京都障害者スポーツ振興会

題字 芝田 徳造

特集 つどい 450(2)

京都府立体育館 主査 南條良樹

7月11日(日)、多くの皆さんが参加して、多くの皆さんが参加して、多くの皆さんが参加して...

私たちに、立派に成長して、大きくなっています。そのために、次のことが必要になってくると思っています。

ボランテアやスタツフの活動には、一杯です。無理をさる方々には、いつも頭を下がる思いで一杯です。無理をさる方々には、いつも頭を下がる思いで一杯です。

私とつどいのは、8月の付合いは、福田明美です。

流れ、いつの間にか13年の月日が過ぎました。その間、500回を迎え、500回を迎え、500回を迎え...

お父さんが生まれた京都で毎月第二日曜日に「しょうがいしゃのスポーツのつどい」があります。7月11日で450回になりました。きねん0「がありました。ぼくは2年生の冬からだいたい毎月つどいに行きます。そのイベントの中には、たつきゅう・車のシュートテニス・トラクション・車いすハンドボールなどがあります。ぼくはその中で車いすハンドボールをやっていて、楽しいときはシュートを入れたときです。車いすハンドボールは、つどいのハンドボールとちがって、ボールはやわらかくて、つかみやすいです。ゴールはグロームをつけています。なぜかというタイヤの回転で手がまさつであつくなつてこげるからです。ぼくはドールフィンというつどいからできたチームです。ほかのチームは全員車いすのチームもあり、いつもは車いすにも乗っていません。

つまでも、いつまでも続きませうように、祈っています。がとれて・・・)

辻井 諒

Table with 4 columns: 行事予定 (Event Schedule), 9月 (September), 10月 (October), 11月 (November). Includes dates and event names like '224回障害者水泳のつどい' and '第30回全京都障害者総合スポーツ大会'.

※次号以降の掲載内容ですが、新規開催につき掲載しています
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010
http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2010年8月22日に一部更新)

スポ振ルネサンス (30)

「心でつなぐ活動を」
京都障害者スポーツ振興会

副会長 水谷 裕

今年も10月に千葉県で、「全国障害者スポーツ大会(以下、全スポ)」が開催されます。京都の障害のある府市民の代表として派遣する選手が、府・市合わせて約50名の個人種目の選手が選考され、派遣が確定した選手の合同練習会が月2回のペースで本番に向けて行われてきました。

この間、例年類を見ないほどの酷暑の中を大会本番での最高のパフォーマンスができるようにと精一杯練習を重ねて来られた選手達に、皆さんと共に精一杯の声を送りたいと思います。

私は、このスポ振ルネサンスを書き始めてから、全スポに関連をして、次のようなことについて、様々な苦言を呈してきました。

振興会のスタッフや関係者からの、2回目出場への容認発言について。選考会で支援学校の在校生や卒業生を選手として選ぶ時に、実習があるからとか、就職一年目だから就職に響くと言つて選ばれた人に相談なく辞退する先生達の姿勢について。

コーチのマンネリ化(ベテラン)や知識不足(経験の浅い人)による不備な点が目立つことについて。

複数のコーチなどがついていながら、うっかりミスでゴールできずに、練習を重ね、本番で出さず機会を選手から奪つてしまったことについて。

現地に行ったその日から選手そっちのけで、役員が夜街に散歩することについて。

開会式の時、雨が降ることとを予測できたにもかかわらず、対応策をとつていなかったことについて。

重い障害のある選手に、複数の担当スタッフがついていながら、私的に応援に来ていた施設職員に一部介助を委ねていたことについて。

競技をしている様子から、半年間の練習で何を指導していか疑わざるを得ないとか、誤った競技方法を教え、選手を失格にミスリードしたことについて。

等々について書いてきました。こういった問題を反省し議論を重ね、よりよい選手環境を実現するために、今年は、

練習会や本番などでの役員・コーチの果たすべき仕事、役割の再認識、再構築に取り組んできているので、今年は苦言を言わなくて済むと、安堵していたのですが...。やはり、今年も思いも寄らないことで、苦言を言わなければならないかもしれません。

それは、ある種目の選手のことです。練習前から、あのコーチはいやだから替えて欲しい。選手は、コーチを選べないのか。

よその施設で国体選手に指導を受けているからよい。事前に組まれて決められている練習時間を、自分の都合で変更して欲しい。

のような、個人として自費で大会に出る選手の如く、主張をしているほか、競技に必要な自分の用具を自分で運べるのに運ばない。

コーチの指導を素直に受け入れない。明確な理由を言わずに定められた練習会を休み、その時間、他の施設で全スポコーチ以外の指導を受けていた。

その競技を行う者としての基本マナーさえ守れない。

など、自分勝手な発言や態度が多く目立ち、京都の障害のある人々の代表として選ばれた選手としての態をなしていないのです。

これらを踏まえ、良い方向性を見出すために、コーチ、関係者、本人の3者で話し合いが持たれたのですが、反省をする様子も見られないようです。

私も、この40年、いろいろな選手を見てきましたが、これほど問題のある選手に出合ったことはありません。本番までひと月余で出場枠があるからといって、このままずるずると引きずり、本番に連れて行ってトラブルが生じることは明らかで、京都として恥ずかしいだけでなく、他の選手にも悪影響を与えます。

従って私は、選手選考に関わったひとりとして、代表選手として資格を取り消すべきではないかと思えます。

どのような状況においても、京都障害者スポーツ振興会は、全国障害者スポーツ大会の選手派遣事業を行政から委託を受けている団体として、また、京都におけるすべての障害のある人々のスポーツを支援する団体として、コーチ陣に対しては言うまでもなく、障害のある選手に対しては、毅然とした態度で対応し臨み、その役割を果たしていきたく考えます。

全京都障害者総合スポーツ大会
多回数表彰 陸上大会の部

小西	彬則	(28回)
森先	喜代江	(28回)
齋藤	命	(26回)
馬場	良子	(25回)
白波	瀬豊蔵	(25回)
西川	春雄	(25回)
寺島	正泰	(25回)
宮本	義一	(23回)
和田	一広	(22回)
井上	稔	(22回)
奥島	誠次	(22回)
福田	俊和	(21回)
鍛示	清司	(21回)
今里	忠幸	(20回)
四方	和子	(20回)

京都障害者
陸上競技体験会・記録会

日時・会場

北部会場 10月30日(土)
京都府立丹波自然運動公園陸上競技場

南部会場 11月23日(祝)
京都府立山城総合運動公園陸上競技場

参加申し込み
京都障害者スポーツ振興会

参加締切 9月15日
(当日参加申し込み不可)